

平成26年度

予算書

平成26年3月27日

資料目次

1 平成26年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4・5-
3 事業計画書	
(1)平成26年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)平成26年度「物品預託と払出」計画(案)	-10-
(3)平成26年度「ボランティア活動」計画(案)	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

平成26年度予算編成について

—はじめに—

熊本善意銀行は「誰もが持つ善意を掘り起こそう」、「人の役に立ちたい」と思いやる温かい心の架け橋として半世紀の間、運営してまいりました。ひとえに県内の会員社やボランティアの皆様など、多数の方々からの善意による支援のたまものと心から感謝を申し上げます。

平成26年度は公益社団法人となり3年目を迎えます。公益法人には収支相償、遊休財産保有上限額などのルールがあり、今年度もこれに則り、より一層の安定的な運営を目指します。その為、運営の設計図である予算編成は重要な作業となり、運営委員会での審議や関係各位の意見を参考に綿密な編成を行います。

当行は明るい地域社会をつくるため、さらに「公益社団法人」としての自覚をもって社会福祉事業の充実・強化・拡充を図ります。

—概要と考え方—

平成26年度の我が国の経済見通しは、消費税率引上げによる駆け込み需要の反動減には留意が必要であるとしながらも、前年度に引続き堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれています。また、平成25年9月から当行への個人寄付金に対して税額控除も可能となりましたが、浸透するには暫く時間が必要なようです。当行のこの2年間の収入と支出の推移は、法令要件に順守した運用を行いながらほぼ一定の水準で推移しています。今期の予算はこの状況からの大きな変化はないものと想定し、4月から消費税率引上げへの的確な対応を加味して編成しました。

公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益は25,275千円で、前年度予算比97.6%と若干の寄付金収入減額の予算としました。また、総経常費用は26,489千円で、創立50周年関連費用等が減り前年度予算比90.6%としました。総当期経常増額は▲1,214千円となりました。

熊本善意銀行は、温かい心をもって地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、以下のような法人会計と公益目的事業会計の予算といたしました。

《法人会計》

法人会計は、熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費をまかなう会計で、

会員の皆さまからの会費収入に支えられております。しかし、収入の半分以上は公益目的事業とするため、経常収益予算は8,424千円で前年度予算比100.3%としました。

管理費は、前期同様に費用を公益目的事業と法人事業に分配し、支出合計は3,821千円で創立50周年関連費用が減り前年度比81.8%、当期経常増額は4,603千円となりました。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は、善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計です。その収入は、広く県民から寄せられる“善意”の預託金です。これに会費収入の50%が加わり、26年度収入は、16,851千円で前年度予算比96.3%の予算と致しました。

公益目的事業は、地域ボランティア活動支援や従来の「小・中学校への車いす贈呈」に「100歳到達者の表彰」そして全国でも例のない「青年海外協力隊員への郷土紙送付」などこれまで通り行っていきたいと思っております。さらに、障がい者福祉・児童福祉・老人施設等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用し広く門戸を開いてケースに応じ、柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は22,668千円で前年度予算比92.3%、当期経常増額は▲5,817千円となり収入を上回る払い出しとしました。

平成26年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位: 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①受取会費	16,840	16,790	50	100.3
②受取寄付金	8,430	9,100	-670	92.6
③雑収益	5	4	1	125.0
経常収益計	25,275	25,894	-619	97.6
(2)経常費用				
事業費(公益)	22,668	24,553	-1,885	92.3
管理費(法人)	3,821	4,671	-850	81.8
経常費用計	26,489	29,224	-2,735	90.6
当期経常増減額	-1,214	-3,330	2,116	36.5
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-1,214	-3,330	2,116	36.5
一般正味財産期首残高	18,730	22,060	-3,330	84.9
一般正味財産期末残高	17,516	18,730	-1,214	93.5
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	17,516	18,730	-1,214	93.5

(注) 災害救援に関連する支出は、予算額を超えて執行することができる。

平成26年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,420	8,420		16,840
受取会費	8,420	8,420		16,840
② 受取寄付金	8,430	0		8,430
受取寄付金	8,430	0		8,430
③ 雑収益	1	4		5
受取利息	1	4		5
経常収益計	16,851	8,424		25,275
(2) 経常費用				
事業費	22,668	0		22,668
役員報酬	299	0		299
給料手当	4,781	0		4,781
臨時雇用賃金	1,056	0		1,056
福利厚生費	178	0		178
旅費交通費	592	0		592
印刷製本費	433	0		433
通信運搬費	616	0		616
消耗品費	471	0		471
賃貸料	902	0		902
会費発行費	388	0		388
支払助成金	4,318	0		4,318
障害者福祉	600	0		600
児童福祉	2,108	0		2,108
災害見舞い助成	610	0		610
各種団体助成	1,000	0		1,000
チケット購入費	300	0		300
記念品購入費	2,433	0		2,433
新聞代・送料	1,094	0		1,094
車いす購入費	960	0		960
毛布購入費	648	0		648
広告宣伝費	1,929	0		1,929
減価償却費	784	0		784
雑費	486	0		486
管理費	0	3,821		3,821
役員報酬	0	61		61
給料手当	0	979		979
臨時雇用手当	0	216		216
福利厚生費	0	433		433
旅費交通費	0	321		321
印刷製本費	0	89		89
通信運搬費	0	126		126
消耗品費	0	96		96
賃貸料	0	185		185
会報発行費	0	79		79
広告宣伝費	0	315		315
減価償却費	0	99		99
雑費	0	822		822
経常費用計	22,668	3,821		26,489
当期経常増減額	-5,817	4,603		-1,214
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0

(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-5,817	4,603	-1,214
一般正味財産期首残高	-	-	18,730
一般正味財産期末残高	-	-	17,516
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
Ⅲ. 正味財産期末残高	-	-	17,516

平成26年度事業計画

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成26年度は昨年度に比べ記念事業等は無く、(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成、(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童や交通遺児の進学・卒業祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成、(3)登録ボランティア団体の活動の橋渡し、といった中核事業を引き続き推進していきます。さらに昨年度から実施しているボランティアサポートネット(学生ボランティアが当行のホームページやメールを通して、社会福祉施設などが求める支援情報を入手できるシステム)や、クレジットカードのポイントを寄付に変換するサービスの推進を図ります。

広報面では、事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
助成事業	
① 障がい者福祉助成 (600 千円) ・ 県肢体不自由児協会に助成。 ・ 脳性マヒ児の「心理療育キャンプ」などに助成。 ・ ダウン症児(者)の療育訓練へ助成。 ・ 県重症心身障害児(者)を守る会へ助成。 ・ 上記以外に障がい者福祉関係のスポーツ・対外研修など	H25 年度予算 に比べ記念 事業分を減 額
② 児童福祉助成 (2,108 千円) ・ 児童福祉施設の夏季行事に助成。(17 施設) ・ 県母子寡婦福祉連合会「親と子の運動会」に助成。(770 名) ・ 熊本少年友の会へ助成など	ひとり親家 庭の入学祝 を増額
③ 災害見舞助成 (610 千円) ・ 災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈。	H25 年度実績 が増加。前年 予算比 164%
④ 各種団体の助成 (1,000 千円) ・ 熊本いのちの電話、ボランティア団体の支援とその他申請のあった地域福祉団体へ助成。	H25 年度予算 と同額

物品助成 ① チケット等配布 (300 千円) ・老人福祉施設、児童養護施設、身体障がい者支援施設などで日常生活をされている方々に、心のゆとりを持ってもらうことを願い、演劇や映画等の入場券を贈呈します。 ② 敬老の日「百歳到達者」に記念品贈呈：第 34 回 (2,433 千円) ・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈り長寿をお祝いし、併せて千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈ります。 本年の対象者は約 650 名の見込み。記念品の配送は、熊日輸送センター・熊日販売センターの協力を得て敬老の日前後に自宅または老人施設などへ配ります。 ③ 郷土紙送料 (1,094 千円) ・熊本県出身の青年海外協力隊員へ郷土紙送付。(約 20 名) 熊本県青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業指導や技術支援を行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を送ります。 ④ 車いす贈呈 (960 千円) ・近年、障がいを持つ子どもの中には、養護学校から居住地にある普通校への就学を希望する児童が増えていますが、車椅子配置には文部科学省の予算措置が少ないため当行に支援要請が寄せられています。また、障がいを持たない子どもの総合学習での車椅子体験にも使用されます。 ・贈呈式は、県内の申請地域に出向いて行います。 ⑤ 表彰・祝い記念品 (児童福祉助成に含む) ・ひとり親家庭の小学校入学祝い。(学用品等贈呈) ・施設児童の高校・専門学校進学祝い。(記念品贈呈) ・交通遺児の中学卒業祝い。(同 贈呈) ・預託者、ボランティア団体、会員へ (感謝状贈呈) ⑥ 毛布・タオル贈呈 (648 千円) ・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈。 ・障がい者スポーツ大会の参加賞としてタオル約 1,000 枚を贈呈。	利用調査により減額 H25 年度実績より 100 名の増加を見込む 青年海外協力隊の県出身の隊員減で減額 小・中校に約 30 台 払出し状況により減額
広告宣伝 (1,929 千円) ・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公	平成 25 年度予算とほぼ同額

益活動への関心を高めるため下記の媒体を使用し、活動内容を広く訴えます。	
-------------------------------------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・新聞広告の掲載、ラジオでの呼びかけ。・ホームページの充実、その他チラシなどの制作。・会報の発行。 | |
|---|--|

2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・定時総会の開催は、6月に開催。
- ・臨時総会の開催は、必要に応じて開催。

② 理事会

- ・定時理事会の開催は、4カ月を超える間隔で2回以上開催。
- ・臨時理事会の開催は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

③ 運営委員会

- ・運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

④ 同種活動団体との連携

- ・全国善意銀行連絡協議会が行う総会や理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にします。本年度秋季大会は熊本で開催されます。

3、[その他の事業]

① 預託や新規会員の拡充

- ・企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページを携帯サイトでも見るすることができます。さらにホームページを充実するなど多様な広報活動を行っていきます。新規会員は、前記PRの活用と機関紙、チラシ等で勧誘を図っていきます。

② ボランティア団体等の拡充

- ・ボランティア希望者は、当行のホームページに登録、社会福祉施設などで活動出来るシステムを構築し運用していきます。また、現在、33の団体・個人が年間を通じてボランティア奉仕活動をしています。活動の団体などは、その年齢構成が年々高くなってきており、新規活動者の拡充も図っていきます。

③ 新しい仕組みの推進

- ・学生ボランティアが当行のホームページやメールを通して、社会福祉施設などが求める支援情報を入手できるシステム「ボランティアサポートネット」の支援情報の充実と学生ボランティア登録の拡大に努めます。また、クレジットカードのポイントを寄付に変換するサービスの推進に努めます。

平成26年度「物品の預託と払出し」計画

平成26年4月1日～平成27年3月31日

物品預託を頂いている個人や団体は、少しではあるが増加傾向にある。(平成24年度物品預託件数21件、平成25年度同26件)また、継続して預託して頂けるため、平成26年度の「物品預託と払出し」計画は平成25年度なみとした。

(平成25年実績参考)

預託する団体・人	預託(払出)物品	払出先
千代の園酒造	清酒「百歳萬歳」535本	26年度百歳到達者
中央ゴルフ	おもちゃ類250点	天草学園など10施設へ
県茶商業協同組合	新茶15キロ	老人施設緑風園など18施設へ
球磨郡匿名	お茶20キロ	くまもと障害労働センターなどへ
熊本そば名店会	天ざるそば手打ち実演100食	藤崎台童園へ
九州ラーメン党	ラーメン300杯	阿蘇市一の宮町豪雨災害仮設住宅
農業経営者グループアグリ	みかん24箱	阿蘇みやま荘など50施設へ
高橋稻荷神社	果物・野菜(ご神饌)20箱	熊本天使園など5施設へ
熊本城稻荷神社	果物・野菜(ご神饌)3箱	若草児童学園など2施設へ
九州電保労熊本本部青年委員会	紅白餅200個	菊水学園など2施設へ
興農園	花の球根3,720球	迎幸園など26施設へ
〃	トマトゼリー82箱	力合つくし庵など41施設へ
大江田寿之	ミニトマト30箱	大津あゆみの園など21施設へ
相良スミ	じゃがいも250キロ	阿蘇くんわの里など17施設へ
〃	スイカ150玉・ユリの花束40	ゆたか学園など10施設へ
明治安田生命熊本支社	洗剤・タオルなど24箱	ゆきぞのグループホームなど10施設へ
木庭かつよなど3名	米・玄米100キロ	救護施設など5施設へ
西山巖ほか1名	洗剤20キロ	坂本の里一灯庵4施設へ
海平輝夫	花の種3箱	花原川を守る会へ
童謡館ほか2名	招待券82枚	広安愛児園など4施設へ
甲斐一之ほか7名	未使用切手約1万円分	福祉施設等へ
湯前九州男など3名	未使用はがき120枚	福祉施設等へ
大和ハウス工業九州協会	書き損じはがき100枚	交換して福祉施設等へ
赤星朋昭	未使用テレカ14,000円分	換金し、福祉資金へ
預託回数約400件	使用済み切手80キロ	〃
熊本善意銀行	毛布 140枚	火災見舞いとして50世帯へ

平成26年度「ボランティア活動」計画

平成26年4月1日～平成27年3月31日

平成25年度ボランティア活動の登録件数は41団体・個人で、33団体・個人が活動している。活動件数は平成24年度に比べ、約300件の減となっている。その対策は今後の研究課題とする。そこで平成26年度の「ボランティア活動」計画は平成25年度なみと考えている。

(平成25年実績参考)

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
藤扇城北福祉会(玉名市)	演芸奉仕	221	静光園老人ホームなど
ボランティアグループ和会(熊本市)		114	みつぐ苑(介護老人ホーム)など
菊踊会(玉名市)		108	玉名市市民文化祭など
菊陽さくら会(菊池郡)		37	菊陽中部小学校など
熊本市お笑い愛好会(熊本市)		8	コミュニティーハウスさくら苑など
城西ひよっこ愛笑会(熊本市)		4	湧心苑ふれあい館など
ボランティア歌舞団ひまわり(熊本市)		3	デイサービスセンターわらべなど
ミュージックバンド絆ボランティア会(宇土市)	演奏	33	デイサービスセンターなかよしなど
スチールギター愛好会(熊本市)		14	ケアセンター赤とんぼなど
スマイリー健&アロハ・スターハワイアンズ(熊本市)		2	くまもと長寿庵そよ風など
リーフアンサンブルキャラバン(熊本市)		2	コスモピア熊本など
宇都宮信夫(熊本市)		1	すずかけ台自治会
藤乃流由友会(菊池郡)	日本舞踊	51	菊陽台病院通所リハビリセンターなど
坂東流 三継会(熊本市)		2	ケアホーム田原坂など
九州芳睦会(熊本市)		1	コムネ黒髪
珠寿恵会(熊本市)		1	くわみず病院通所リハビリテーション
フーちゃんとおごひげのおじさん(熊本市)	マジック	22	熊本市中央福祉センターなど
ブードル雅子&Piero(熊本市)		8	出水幼稚園お楽しみ会など
熊本奇術クラブ(熊本市)		2	龍山学園など
明日香会(熊本市)	大道芸	48	植木桜ヶ丘児童館など
タレント&タラント(熊本市)		3	介護老人施設なすび園など
肥後ちゃんかけごま保存会(熊本市)	伝承芸能	4	熊本商業高校など
かしま太鼓(上益城郡)		1	デイサービス正直屋
ロゴス腹話術研究会熊本支部(熊本市)	腹話術	11	たんぼぼ保育園など
中村ファミリー(宇城市)	民謡	7	熊本こすもす園など
山部美郷(熊本市)	津軽三味線	7	熊本県あかねの里など
プア・ケニ・ケニ(熊本市)	フラダンス	5	地域支援センターいんくるなど
ハレルヤ笑いヨガくらぶ(熊本市)	健康体操	4	ケアランド熊本ロイテの杜など
柏原幹司(熊本市)	相撲甚句など	3	ケアラズ水前寺など
田上松子(熊本市)	講演	3	河内町塩屋公民館かたろう会など
ボランティア坊さん・橋本敏明(熊本市)	講話	1	コスモスファミリー熊本
九州電労青年委員会(熊本市)	高所作業	1	慈愛園子供ホーム
匿名2名(熊本市)	使用済み切手整理	15	換金の為、大きさを整型
合 計		747	